## 第2回広島県立文書館データベースシステム利用等業務 公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

公券生ノロかーリル選定安貝云蔵事安日		
	項 目	内容
1	日時	令和 7 年 10 月 24 日 13 時 30 分から 16 時 30 分まで
2	場所	広島県立文書館会議室
3	出席委員	委員長 広島県立文書館長 委 員 広島県立図書館長 委 員 広島県総務局総務課文書・情報公開担当監 委 員 広島県総務局総務課文書グループ主査 委員代理 広島県立文書館研究員
4	議題	契約候補者の選定について
5	担当部署	広島県立文書館
6	開催方法	<ol> <li>参集</li> <li>持ち回り</li> </ol>
7	議事内容	選定委員会において、提出された提案者を基にプレゼンテーション審査を行い、最も得点が高い提案を行った提案者を契約候補者として選定した。  1 提案者(公募型プロポーザル参加資格確認申請書の提出順) A社:FLCS株式会社中国支店 B社:インフォ・ラウンジ株式会社 C社:日本事務器株式会社 D社:ナカシャクリエイテブ株式会社  2 契約候補者 審査の結果、A社が契約候補者として選定された。  3 各委員の主な評価・選定理由等 【A社】 ・ 豊富な実績に基づく安定的なシステム運用が期待できる。また、付加機能についての説明も具体的である。 ・ 災害など急な障害発生時の復旧が可能な基点について、リアルタイムでのバックアップを実施している点が安心できる。 ・ 使いやすさ、機能など、全体的に優れていると認められる。 ・ 豊富な実績に基づき、要望に対する提案が明確に提示されている。 ・ 機能要件を満たしており、また価格も比較的抑えられていることから、総合的に高く評価できる。

・ 文書館の業務内容や現行システムの課題を踏まえた具体的な提案になっており、特に管理機能が優れている。公文書館システムとして信頼性が高い。

## 【B社】

- ・ 導入体制・導入後のサポート体制について意思疎通の点で懸念がある。
- ・ 視覚障害、聴覚障害など、操作に制約がかかる方への配慮した設計になっている。
- ・ デザイン性が高く、利用者目線での画面構成が評価できる。
- ・ 提案内容が漠然としており、具体的でない。データ移行の方法やスケジュールが不明確。

## 【C社】

- ・ 豊富な実績に基づく安定的なシステム運用が期待でき、サポート体制も 充実している。
- 目録データの項目が更新しやすい。
- ・ セキュリティ対策について、万全の対策を取っている。
- ・ 入力支援機能について文書館の要望に対応している。
- 低コストが評価できる。
- ・ 操作性、安定性に優れており、安心して利用できる。

## 【D社】

- ・ 付加機能について魅力的な提案がある。また、サポート体制が充実している。
- ・ 今後、デジタル化の取組のオープンデータ化の推進へとつなげていくことが想定されている。
- ・ 付加機能の提案等からデータ利活用の先を見据えた提案が評価できる。
- ・ 全体的によくまとまっており、デジタルアーカイブシステムとして優れている。追加提案も興味深い。管理機能が不明確。

以上